

中=BS のSを栽める外要がある.

長さくの針金をか回参いているので、円周の長さは一分[m]半径をかとすると

$$2\pi r = \frac{l}{n}$$

$$\Rightarrow r = \frac{l}{2\pi n}$$

\$,7

$$S = \pi r^{2}$$

$$= \pi \cdot \left(\frac{2}{2\pi n}\right)^{2}$$

$$= \frac{2^{2}}{4\pi n^{2}}$$

中=BS1=1t1入すると

$$\phi = \beta \cdot \frac{l^2}{4\pi n^2}$$

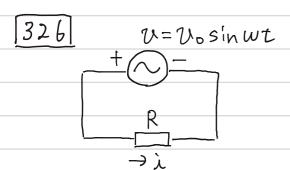
コイルが回転すると、石兹東が買く面積は COSWもの成分となるので

$$\phi = B \cdot \frac{l^2}{4\pi n^2} \cos \omega t$$

せで、飲分して

$$\frac{\Delta \phi}{\Delta t} = -\frac{B l^2}{4 \pi n^2} w \sin w t$$

前述した式より最大値 Voは
$$V_0 = \frac{B L^2}{4 \pi n} \omega$$
 よって 実効値 Veは $V_e = \frac{1}{12} V_o$ $= \frac{1}{12} \cdot \frac{B L^2}{4 \pi n} \omega$ $= \frac{E B L^2 \omega}{8 \pi n}$



(1)

抵抗Rでの電位差 VRはオームの法則 V=RIより VR=Ri

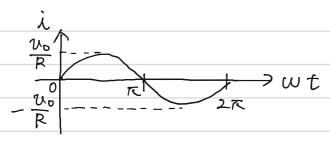
キルヒホッフ第2法則より

$$W = V_R$$

> Vosinwt = Ri

(2)

+sln型で最大値が限のかラフとなる.



(3)

共に + sin 型なので 位相は等い(1)

(4)

$$(2) \xi' \qquad \lambda_0 = \frac{\gamma_0}{R_{H}} (\dot{\gamma})$$

(実交が値)=(最大値)×豆 なので

$$V_e = \frac{U_0}{5} \Rightarrow U_0 = \sqrt{2} V_e$$

これを(ウ)の式に付入して

$$\sqrt{2} Ie = \frac{\sqrt{2} Ve}{R}$$
 :: $Ie = \frac{Ve_{\mu}(I)}{R}$

(5)

消費電力 P(t) は

$$P(t) = I(t) \times V(t)$$

$$= \frac{V_0}{R} \sin \omega t \times V_0 \sin \omega t$$

$$= \frac{V_0^2}{R} \sin^2 \omega t$$

$$\overline{P} = \frac{v_0^2}{R} \frac{1}{\sin^2 wt} = \frac{v_0^2}{2R}$$

$$(: sin^2wt = \frac{1 - \cos 2wt}{2} = \frac{1 - 0}{2} = \frac{1}{2})$$

※補足 グラフで、平均値をイメージできるようにしておこう―

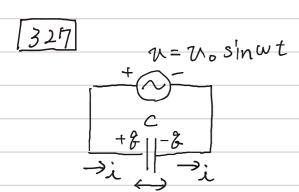
$$P(t) = \frac{v_0^2}{R} \sin^2 \omega t$$

$$P = \frac{v_0^2}{2R}$$

$$\frac{v_0^2}{2R} \cos^2 \omega t$$

$$\frac{\overline{P} = \frac{v_0^2}{2R} \quad l = v_0 = \sqrt{2} \quad V_e \quad \epsilon / t / L \tau}{\overline{P} = \frac{(\sqrt{2} \text{ Ve})^2}{2R} = \frac{\text{Ve}^2}{R}}$$

※実対値で消費電力の平均をだせることを専出した問題である。



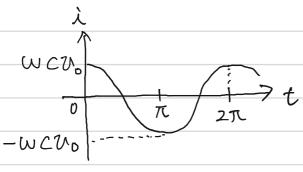
(1)

= C ひo Sin W t (2) i= df は電流Iの定義「Is I= 通過する電気量」のことである.

(1)の名の式を微分して

(3)

+ Cos型で、最大値がWCひ。のグラフとなる.



(4)

Vが +shn型、んか + cos 型をので

えの方がVよりも一生仕相が進んでいるといえる.

|327| 続き

(5)

(I)

(2)の式より入の最大値ん。は i. = wcv.

空欄に)の形に合わせると.

$$\lambda_0 = \frac{0}{\frac{1}{\omega c_H(T)}}$$
 ※これはオームの法則 $T = \frac{V}{R}$ の形にあわせているのである

(1)

$$\sqrt{2} \text{ Ie} = \frac{\sqrt{2} \text{ Ve}}{\frac{1}{\text{Wc}}}$$

$$\Rightarrow Ie = \frac{Ve}{\frac{U}{WC_{H}}(t)}$$

(1)(1)

(6)

消費電力 P(t) は

$$P(t) = I(t) \cdot V(t)$$

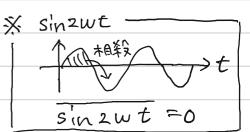
= WCV, COSWt x VosinWt

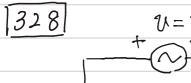
= WCUo2 sin wt coswt

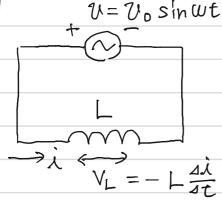
= 1 wcno sinzwt

平均消費電力下は p= 1wcひ。 sin 2wt = 0+(7)

$$\overline{p} = \frac{1}{2} W C U_0^2 \quad \overline{sin 2Wt} = 0$$







(1)

キルビホッフ第ユ法則より

$$V - L \frac{\Delta \dot{\lambda}}{\Delta t} = 0$$

 \Rightarrow Vosinwt - $L\frac{\Delta i}{4t} = 0$

ニカチリ

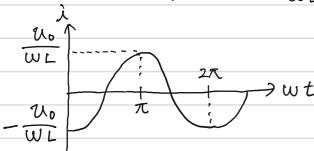
西辺を積分して

入=-ひo coswt + C (Cは積分定数、C=OとLTよい)

$$\therefore \lambda = -\frac{v_0}{WL} \cos wt$$

(2)

- Cos型で最大値がひのかうフとなる.



(3)

電圧が +Sin型、電流が一 COS型なので、

電流は電圧より位相が受だけ位相がおくれている

$$\lambda_0 = \frac{\mathcal{O}_0}{WL} (I)$$

$$i_0 = \sqrt{2} I_e$$
, $U_0 = \sqrt{2} V_e E/t \lambda L \tau$

$$\sqrt{2} I_e = \frac{\sqrt{2} V_e}{WL}$$

(h)(f)

(5)

消費電力P(t) は

$$P(t) = I(t) \cdot V(t)$$

$$= -\frac{u_0}{w_L} \cos wt \times u_0 \sin wt$$

$$= -\frac{u_0^2}{w_L} \sin wt \cos wt$$

$$= -\frac{1}{2} \frac{u_0^2}{w_L} \sin 2wt$$

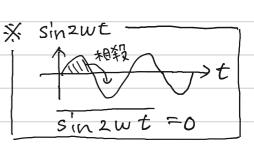
平均消費電力下は

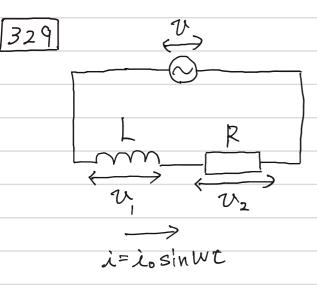
$$\overline{P} = -\frac{1}{2} \frac{70^2}{WL} \frac{1}{\sin 2Wt}$$

$$= 0$$

$$(7)$$

$$\sin 2Wt$$

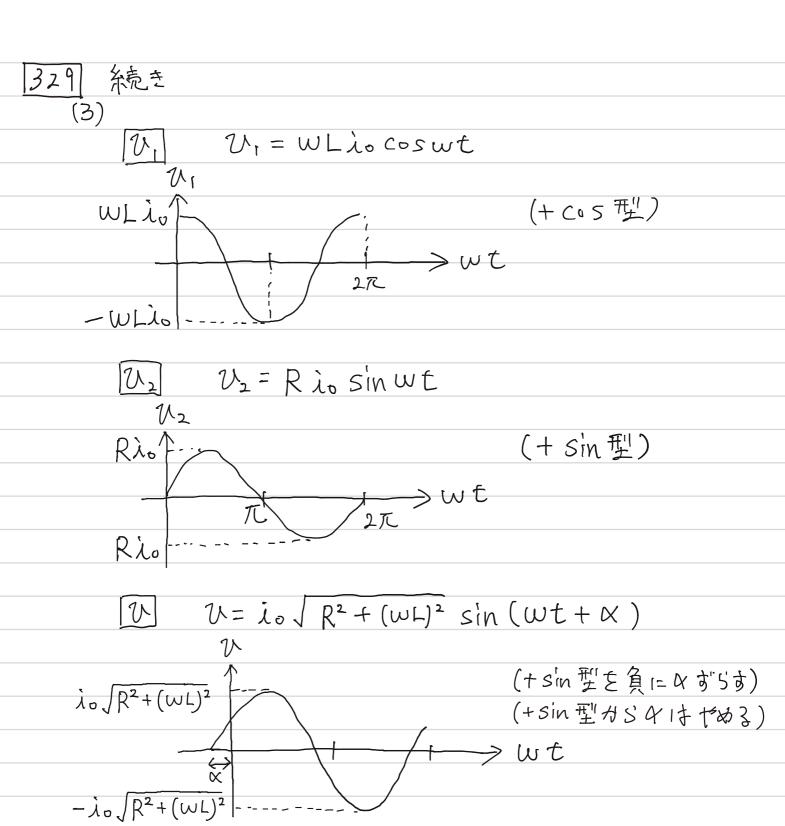




$$= \sqrt{(R\lambda_0)^2 + (\omega L\lambda_0)^2} \sin(\omega t + \alpha)$$

$$(f=f'' L \tan \alpha = \frac{\omega L\lambda_0}{R\lambda_0} = \frac{\omega L}{R})$$

=
$$io\sqrt{R^2 + (\omega L)^2}$$
 Sin (wt+4)



(4)
コイルの消費電力は0なので、抵抗の消費電力を 考えればよい、抵抗に流れる電流の最大値は入。なので Pe = Ie² R

$$Pe = IeR$$

$$= (\frac{1}{12}\lambda_0)^2 R = \frac{1}{2}\lambda_0^2 R$$

$$= \frac{1}{12}\lambda_0^2 R = \frac{1}{2}\lambda_0^2 R$$

コリアクタンスと位相のずれは覚えておくと便利,

	抵抗	コイル	コンテ"ンサー
リアクタンス	R	WL	We
V=対する	ରି ୯'	元 おくれている	<u>た</u> すま人でいる
In位相	טופן (2 0141 2113	2

※ [326] ~[329] を理解しておけば、覚えてなくても解ける.

(ア)

コイルの誘導リアクタンスはWL#(ア)

(イ)(ウ)

コルは電流の位相が電圧より 売だけ 遅れる (エ)

リアクタンスXを用いて、電流の最大値」。を求めると、

$$\frac{1}{10} = \frac{M\Gamma}{\Lambda^0}$$

電流の位相が電圧の位相(wt)が告ずくれていることを組みニんで、Iの式を立てると、

$$I_{L} = I_{o} \sin \left(wt - \frac{R}{2}\right)$$

$$= \frac{V_{o}}{\omega L} \sin \left(wt - \frac{R}{2}\right)$$

$$= \frac{V_{o}}{\omega L} \sin \left(wt - \frac{R}{2}\right)$$

※ 問題[328]のように積分を用いても

$$L_{L} = -\frac{V_{0}}{\omega L} \cos \omega t$$

が求められる。リアクタンスを使う形と微鏡を使う形の 2 通りの解法があると知識を整理しておこう。

(大)

コンデンサーの容量リアクタンスは WC#(オ)

(力)(†)

(+) コンデンサーは電流の位相が電圧より元だけ進んでいる. -*(カ) **(キ) (1)

リアクタンス×を用いて電流の最大値 I。をおめると、

$$\bigvee_{0} = X I_{0}$$

$$\Rightarrow \bigvee_{0} = \frac{1}{100} I_{0}$$

: In = (1) c Vo

電流の位相が電圧の位相(wt)より 受すすんごいることを 組みこんでIの式をたてると

$$I_{c} = I_{o} \sin \left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right)$$

$$= \frac{\omega c V_{o} \sin \left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right)}{4} (7)$$

問題文で与えられている式

$$V = \lambda_0 \sqrt{R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2} \sin(\omega t + \alpha)$$

を自分で、尊けるようになっておこう.

直列接続では電流が共通なので、電流をベースに考える. え= え。sin wt とかいて、各業子の電圧を求める。

UR

V=RI Fy

Up = Riosinwt

VL

リアクタンスを用いて、ひの最大値ひ。を求めると、

V=XI Fy

ULO = WL. io

電流の位相(Wt)が電圧の位相よりでおくれているので、

道にいうと電圧の位相が一受すめでいるといえる。

ニネよりひしを立式すると.

 $U_{L} = U_{Lo} \sin \left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right)$ $= \omega L \lambda_{o} \sin \left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right)$

Vc

リアクタンスを用いてひの最大値ひ。を取めると

Uco = 1110 20

電流の位相(Wt)が電圧の位相より受す外でいるので、
逆にいうと電圧の位相が受かくれているといえる。

= れよりひcを立式すると.

$$U_c = U_{co} \sin(\omega t - \frac{\pi}{2})$$

$$= \frac{1}{\omega c} i_0 \sin(\omega t - \frac{\pi}{2})$$

キルヒホッフ第二法則の計

に付入すると、

ひ= Riosinwt+ WLiosin(wt+元)+ losin(wt-元) かりたル図を用いて合成すると

$$v = \lambda_0 \sqrt{R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2} \sin(\omega t + \alpha)$$
 \(\text{\$\sigma_5}\) \(\text{\$\sigma_5}\).

※ かクトル図を用いず、三角関数の合成をしてもよい。

(P)

求以たひの式から.最大値を読みとると

$$V_0 = \lambda_0 \sqrt{R^2 + (wL - \frac{1}{wc})^2} + (P)$$

(1)

(ア)の式と変形して

$$\lambda_0 = \frac{V_0}{\sqrt{R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2} + (1)}$$

(\(\dagger) \)

ひo= 12 Ve, io= 12 Ie を代入して

$$\sqrt{2} \text{ Ie} = \frac{\sqrt{2} \text{ Ve}}{\sqrt{R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2}}$$

$$Ie = \frac{Ve}{\sqrt{R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2} + (b)}$$

(I)

オームの法則のRにからーダンス又を代入すると

$$I = \frac{V}{Z} \qquad (\dot{D}) \vec{\Delta} \times \mathcal{L} \times$$

[33] 続き

(1)

エイルとコンデンサーでの消費電力はのなので。 抵抗での消費電力のみ考えればより。

(h)

インピーダンスをが最も小さくなるとき、Ieが最大となる、 とが最も小さくなるのは

$$W_{s}L - \frac{1}{W_{s}C} = 0$$

となるときである.

これを解いて

(†)

$$f_0 = \frac{1}{T_0} = \frac{1}{\frac{2\pi}{W_0}}$$

$$= W_0$$

$$=\frac{1}{2\pi\sqrt{LC}}$$

名素子のリアクタレスから、インピータ"ンスを求める。

問題[33] より LCR 直列回路のインピータ"ンスヌは

$$Z = \int R^2 + (\omega L - \frac{1}{\omega c})^2$$

ニニマ"問題文より

 $R = 400[\Omega], WL = 500[\Omega], \frac{1}{WC} = 200[\Omega]$ \$07"

$$Z = \sqrt{400^2 + (500 - 200)^2}$$

$$= \sqrt{250000}$$

$$= 500$$

これを用いてオームの法則を立立すると

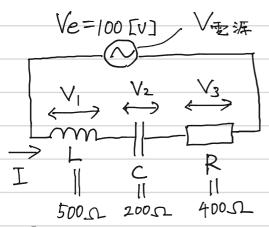
: Ie = 0,20 [A]

これを用いて、各素子での電圧の実気が値を求めると

※ インピータ"ンスヌを使わす"に求めてみる。

直列接続なので、各素子で電流が共通となる。

電流の最大値もえ。, I= jo sin Wt とおいて、各案子での 電圧も求める。



1

リアクタンスを用いて電圧の最大値を求めると、

位相のずれも考慮すると、

$$V_1 = 500 \lambda_0 \sin \left(wt + \frac{\pi}{2}\right)$$

V2

リアクタンスを用いて電圧の最大値を求めると、

$$V_{20} = \frac{1}{wc} \lambda_0$$

$$= 200 \lambda_0$$

位相のずれも考慮すると、

$$V_2 = 200 \lambda_0 \sin \left(wt - \frac{\pi}{2}\right)$$

Vз

リアクタンスを用いて電圧の最大値を求めると。

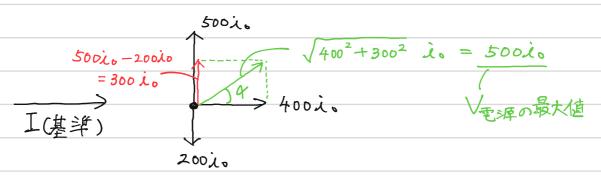
$$V_{30} = R \quad \dot{\lambda}_{00}$$

$$= 400 \quad \dot{\lambda}_{00}$$

位相のずれも考慮すると、

キルヒホッフ第2法則より

= 500 え。sin(wtt 至) + 2002。sin (wt-至) + 4002。sin wt へいクトル図を用いて合成すると、



V電源の最大値か"500元。とおまったので、

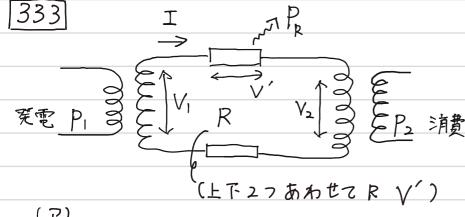
問題文の電源の実効値 100 EVI とヒビベマ

それでれの素子での電圧の最大値の式にえ。も代入して.

$$V_{10} = 500 \lambda_{0}$$
 $V_{20} = 200 \lambda_{0}$ $V_{30} = 400 \lambda_{0}$
= $100\sqrt{2}$ = $40\sqrt{2}$ = $80\sqrt{2}$

ニれを点倍して実効値に直すと.

$$V_1 = 100 [V]_{H} V_2 = 40 [V]_{H} V_3 = 80 [V]_{H}$$



(ア)

抵抗Rでの消費電力を計算すると

$$P_{R} = IV$$

$$= I^{2}R$$

これがエネルギーのロスとなっているので

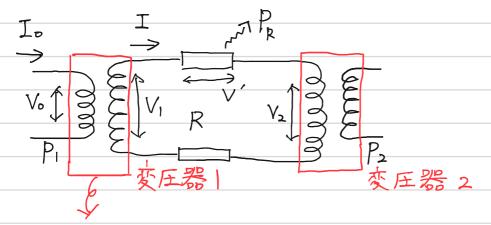
$$P_1 - P_2 = \underline{I^2 R}_{+} (P)$$

(1)

IPE小さくするには、電流Iを小さくしなければならなり。 (イ)

(4)

ここでは、変圧器でのエネルギー損失がないとした立式を行う



変圧器 |でのエネルギー変換を式にすると

$$I_{o}V_{o} = IV_{I}$$

ここで、Iを小さくするには、Vinを高くするように設定にすればより、 (火側の巻き数を増やすなと")

※ (ウ) の補足

変圧器のエネルギー変操の式

は、原理はおいといて、公式として使ってよい式となります。 高校範囲をこえてはってると思います.

(I)

変圧器 1のエネルギー変換のゴより

$$P_1 = IV_1$$

変圧器 2のエネルギー変換の式より

抵抗尺でのエネルギー損失の式をたてると

$$P_1 - P_2 = I^2 R$$

3 対 より

 $IV_1 - IV_2 = I^2R$

$$\therefore I = \frac{V_1 - V_2}{R}$$

(アゴPI-B= IZR 1=イナ)入して

$$P_{1}-P_{2} = \left(\frac{V_{1}-V_{2}}{R}\right)^{2} R$$

$$= \frac{\left(V_{1}-V_{2}\right)^{2}}{R} (I)$$

(才)

変圧器 して"のエネルキ"一変接のずより

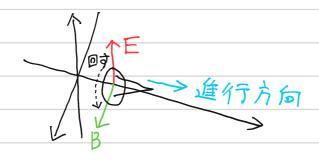
$$P_1 = IV_1$$

これより V,を2倍にすると、Iは三倍に本る.

すると Rz"の消费電力の式、 R=I'Rより

Iが 宣信になると、PRは宣信を3とわかる、一件(オ)

- (ア) 電磁誘導の法則
- (イ)横波(イ)
- ※ 電場と磁場と進行方向を右ねじの法則で"考えられることも矢のてお"こう。



問

欠識問題となる.

エネルキ"ー ① 〈

電波→マイクロ波→赤外線→可視光→紫外線→X線

より危なそうなもの程、波長が矢豆い(エネが大きい)と考えれば、ただの丸暗記にならないかもしれない。